

# 大平元総理に学び、龍が昇る年に。

みんなの党目黒区議団 幹事長 松田 哲也

2012年辰年を迎えました。昨年被災地の小学校を訪れたブータンのワンチュク国王は「皆さんの中に龍はいます。龍は経験を食べて大きくなります。どうか自分の中の龍を大切に育てて下さい」と声をかけられました。またジョン・ダワー教授は著書「敗北を抱きしめて」の中で関東大震災後のモダンな大正や大戦後の民主的な日本を挙げ、歴史的な危機は必ず新しい時代を創造すると述べています。年頭にあたり、被災地で、日本で、目黒でそれぞれの龍が昇る一年になることを心から願います。

さて、目黒区は昨年緊急財政対策に取り組み、180億円もの予算を削減する案をまとめました。しかし、限られた財源の中でどこに予算傾斜をし、いかに魅力・特色ある目黒区を創っていくかという視点が欠けています。

野田総理は就任後月刊誌で、「いま改めて学ぶべきは大平正芳さんの政治だ」と語りましたが、私は大平元総理の家族基盤充実を、国や自治体の発展の礎とする政治理念に学ぶべきだと考えています。

今定例会の一般質問で具体的に提言していますが、震災対策とともに少子高齢化社会対策を最優先課題とし、家族の絆の再生で膨らみ続ける子育て・介護の行政コスト軽減にも取り組みます。